



# 文字に光を

## ヒロシ

新しい波に簡単に乗ることができない性分で、ずっと抗ってきたんです。

たとえばレコードからCDへの移行期。この大判のジャケットやライナーノーツだからいいんだ、俺は一生レコードを買い続けるぞと心に決めていました。結局、便利さに負けてCDを買うようになったけど、CDには小さいながらかろうじてまだ紙が入っている。それは最後の砦だと今も思っています。

活字を読むのは、僕は紙じゃないとダメなんです。ネットの記事とかの短いものを読むぶんにはよくても、内容を頭に入れる時にはやっぱり紙で読みたい。

仕事の企画書もそうだし、クレジットカードの明細や保険証書はオンラインとどっちか選べるけど紙でもらわないと落ち着かない。雑誌や本も紙で読みたいし、当然、ネタを書くのもおぼえるのも紙。

タブレットにチャレンジしたこともありますが、どうも読む気が起きない、目も痛くなるんです。

どうしてなのかわからないけど、ひとつは本や紙には読む時の態勢や角度を自分で決められる自由度があるからかなと。見開きで読めることも大きいですね。タブレットでも同じにできるとしても、文字面から光が出るより、こちらから文字に光を当てたい。ちゃんと向き合ってる感じがするんです。だから原稿をパソコンで書いても、必ずプリントアウトして推敲しています。

とはいえ今の僕は、新しい波には乗れとも思っています。そうしないと世の中に置いて行かれる気がして、それは怖いんですよ。だからおっさんになってからデジタル機器に触ったり、新しい波の中で何ができるのかもがいていました。もしかしたらそういう自分とのバランスをとるために、昔から好きだったキャンプに、没頭したのかな。

小学生の頃、絵を描くのが好きで漫画家になりたいと思っていました。毎週通っていた耳鼻科の待合室に週刊少年サンデーの最新号が置いてあって、連載の中でも特に『まことちゃん』が大好きになったんです。そこから楳図かずおさん

の作品の単行本を集めて出して何度も読んで、憧れましたね、漫画家。というより楳図かずおさんに憧れてた。

ある時、『まことちゃん』の映画が開されると聞いて、「マジか!」と狂喜して親に頼み込んで前売り券を買ってもらったんです。ところが机に飾っておいたら、三つ下の弟が芋判を押しちゃったんですよ。何でそんな事やるかなあ!って、幼稚園児相手にものすごい腹立って大喧嘩しました。前売り券にはまことちゃんの絵がついてて、嬉しいですよ、宝物ですよ。映画館に入るための券、でも僕にとってはそれ以上のものでした。その後、映画は観たと思うんですけど、不思議と芋判事件ほど記憶に残ってはいないんです。

あの嬉しさも腹立ちも、一枚の紙がくれたものでした。今の子どもは生まれながらにデジタル社会で便利だけど、紙切れ一枚が宝物になるなんて体験は、もうできないのかもしれないね。



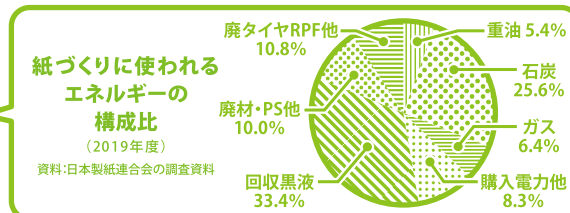
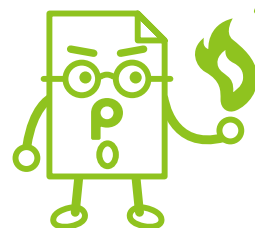
ひろし●芸人。1972年熊本県生まれ。「ヒロシです」のネタでブレイクし、現在はソロキャンプYouTuberとしても活躍。「ヒロシちゃんねる」は登録者数100万人を超える。近刊に「沈黙の轍」「ヒロシのソロキャンプ」など。熊本朝日放送「ヒロシのひとりキャンプのすすめ」(隔週土曜深夜0時)、BS-TBS「ヒロシのぼっちキャンプ Season3」(毎週火曜夜11時)好評オンエア中。

### ペーパー君のつ・ぶ・や・き 活動

#### 紙になった後のもうひと頑張り。

原料となる木材の繊維部分は紙づくりに、繊維を取り出して残ったその他の部分(黒液)はエネルギーに。紙をつくるときに使われるエネルギーの約30%が、この黒液(バイオマス)<sup>※</sup>でまかなわれているんだって。木材は大切な資源として、最後まで無駄なく使われているんですね。

<sup>※</sup>バイオマスとは、再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたものです。



紙のことをもっと伝えたい。詳しくは、「ペーパー君のつ・ぶ・や・き」WEBサイトをご覧ください。

<http://kamitsubu.com/>

今回は9月2日号です。

提供 ● 日本製紙連合会 <http://www.jpa.gr.jp>

Photo : Shiro Miyake